

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和8年3月23日

①学校名:	神田外語大学	大学院(私立)	②所在地:	大学:千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1		
③課程名:	Certificate Program in TESOL(履修証明プログラム)					
④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤定員:	英語学専攻 8名	⑥期間:	1年間	
⑦責任者:	TESOLプログラム・ディレクター Gordon Myskow准教授		⑧開設年月日:	令和2年4月1日		
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>新学習指導要領の施行に伴い、高等学校のみならず中学校でもオールイングリッシュの授業が開始され、教科としての英語学習が小学校でも始まるなど、英語教育の充実強化を図る教育改革が進展しており、英語教員として必要な能力も時代の要請に伴い変化している。このような情勢を踏まえ、本学のTESOLプログラム(学位プログラム/履修証明プログラム)では、最新の英語教授法・教育原理を学ぶことにより、高度な専門知識、優れた指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的としている。</p> <p>本履修証明プログラムでは、多忙な社会人の多様なニーズを踏まえ、修了要件単位数及び必修科目を厳選し、選択科目の幅を広げており、既にBPの認定を受けているTESOL学位プログラムと同様の科目について、基本的なものに絞って履修することが可能である。</p>					
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業	
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援 ○	8 ビジネス等	10 防災危機管理	
⑪履修資格:	4年制大学を卒業して学士(BA)の学位があり、一定の英語力(TOEIC800点以上など)を有し、かつ、現在英語教員として働く者又は将来英語教員として働くことを希望する者。					
⑫対象とする職 業の種類:	中学校・高等学校の英語教諭、高等教育機関や英語学校等での英語教員					
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 最新の英語教授法・教育原理についての知識とそれを実践する技能 英語教育に必要な言語学的知識と授業へ応用する技能					
	(得られる能力) 授業をすべて英語で実施、運営できる能力 自身の授業を振り返り、改善する力					
⑭教育課程:	<p>(1)「TESOL Methodology(教授法)」科目群では、さまざまな英語教授法やアプローチを学び、自分の授業への活用方法を考える。</p> <p>(2)「Practicum and Classroom Observation(実習・授業観察)」の科目群では、各自の教育現場の様々なニーズや目的を踏まえ、授業実践を行い、授業を振り返り、改善する力を養う。</p> <p>(3)「Language Acquisition, and Assessment(言語習得・評価)」の科目群では、効果的な教育実践を念頭に英語の文法、音声・音韻、語用等に関する理解を深め、言語学習に影響を与える言語的、認知的、社会文化的諸要因に関して理解し、さらに、生徒たちの学びを確認するための評価法を身に付け、自らの教育実践に活かす。</p>					
⑮修了要件(修了 授業時数等):	10単位以上を取得すること(最大13単位まで履修可)。					
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	Certificate Program in TESOL(履修証明プログラム)					
⑰総授業時数:	39	単位	⑱要件該当 授業時数:	39	単位	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:
⑲要件該当授業時数 /総授業時数:					100	%
⑳該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○	実地

⑳成績評価の方法:	授業への積極的な参加、グループディスカッション、授業中のプレゼンテーション、課題提出、最終レポートの評価等
㉑自己点検・評価の方法:	大学・大学院として学校教育法第109条第1項に定める評価を実施するとともに、TESOL運営委員会にて、プログラムの運営上の問題点や改善点を検討し、研究科教授会に諮り、TESOLプログラムの内容充実を図っている。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	少人数制の利点を活かし、受講中から修了に至るまで、受講者の状況をヒアリングし、能力の向上の状況について確認している。ヒアリング内容については、教員と共有し、次年度以降のカリキュラムの編成の参考としている。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 高大連携協定の締結校や近隣の高校を訪問し、教員に必要な資質、能力開発に係る意見交換を行っている。また、ワークショップや教育公開講座において、外部の現職教員と意見交換し、英語を教える教員の悩みやニーズを把握するよう努めている。その他、教育委員会の担当者の授業見学の受け入れ等も実施している。
	(自己点検・評価) 大学・大学院として、公益財団法人 日本高等教育評価機構の第三者評価を受けて、自己点検・評価の適切性を確保している。その結果については、TESOL運営委員会で共有し、適切な自己点検・評価の実施に活かしている。また、自己点検結果および第三者評価の結果を大学ホームページ上で公表している。 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/about/evaluation/)
㉔社会人が受講しやすい工夫:	(1)社会人が通学しやすい東京キャンパス(神田駅徒歩2分)、(2)土曜日・日曜日に開講、(3)9月入学の場合はず
㉕ホームページ:	https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/faculties/graduate/tesol/

事務担当者名:	飯島 万澄	担当部署:	教務部 教学企画運営チーム
事務担当者連絡先:	(電話番号) 043-273-1320 (担当係E-mail) tesol-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。